

## お寄せいただいた意見と市の考え方

## ■お寄せいただいた意見と市の考え方

No.	区分	ご意見	回答案	修正等
1	1 基本方針・計画概要 1-1 設計方針	P1の設計方針の【基本設計の取り組み】についての文言を分かり易く概要版だけではなく本文も必要と考える説明等をして頂きたい。 ①敷地を有効活用した防災計画とは、万一の災害発生時に市民の一時的な避難活動に利用することが可能な場所になりますか。 ②広場に面した市民活動スペース(室内及び室外)とは、市民が活動し易いように机・椅子・コピー・FAX・プリンター等を含んで機器の配置、かつインターネット環境が整っているスペース(場所)と理解しても宜しいですか。 ③フレキシビリティの高いオフィスとは、窓口対応の職員は除いて、全ての職員に固定席(指定席)は設けず、あくまでの効率向上を最優先にして執務席の配置(自由席と固定席の組合であり、場所にとられない執務場所とする)をどこまでを考えているのかを示して頂きたい。 ④ライフサイクルコストの削減とは、重要な内容で、具体的な概算(計画・設計・施工から維持管理・設備等の改修及び更新・解体・廃棄まで含めた各々セクション)を示して頂きたい。 ⑤働くを育てるフレキシブルフレームに記載されている左記は、職員向けか市民向けか、あるいは両方を指すのかを明確にして頂きたい。例えば、「新たな働き方」とは、市民に向けてテレワークの場所として自宅では制約があり、仕事の効率向上が期待が出来ない人の対処方法として冷暖房完備・静かな環境でかつインターネット環境等も整った市役所で仕事を進めることも可能であることをPRしておりますか。	①市役所は避難所に指定されていないため、市役所に避難して来られた市民の方々は一時的に受入れ、災害の状況について安全が確認された後、最寄りの避難所に移動していただくことを考えております。 ②会議室兼イベントスペースの備品につきましては、会議に使用する机・椅子の最低限の備えを想定しております。 インターネット環境につきましては、今後の検討となります。 ③フレキシビリティの高いオフィスとは、課の統廃合、新設に伴って用途・レイアウトの変更がしやすくなるという趣旨で記載しております。 ④後日公開予定の基本設計書(資料編)において、ライフサイクルコストの概算を記載いたします。なお、実施設計完了後にはより詳細なライフサイクルコストの試算結果をお示しする予定です。 ⑤フレキシブルフレームは、【基本設計の取り組み】のフレキシビリティの高いオフィスに対応して記載しております。 今後のICTを活用した市職員の新たな働き方や新たな市民サービスに対応できるように用途・レイアウト変更がしやすい庁舎を意味します。	
2	3 配置計画 3-1 配置の基本方針	本庁舎別館は、取り壊した方が良く、市役所は、水道局のように、明らかに別の機能を持つならいざ知らず、建物が分かれることは、利用者の利便性を大きく損なうばかりか、駐車場の中心に建物が建っている設計では、駐車場の効率的な運用ができない。	本庁舎別館につきましては、耐震性能を満たしていることから、今後の利活用を資産管理課所掌の会議体において、現在検討を行っております。	
3	3 配置計画 3-1 配置の基本方針	広場の位置を 建物の北側に広場が位置する配置では、新庁舎の陰になってしまい、冬場においては、寒々しい空間になるばかりか、樹木等の生育にもよろしくない。庁舎の南側のあたたく日差しが確保されている場所にこそふさわしい。建物の北側などは、日差しを避けられることから、日光を嫌う倉庫類や駐車場などの方が利用としてよいのではないか。	新川大橋通りや八千代中央駅方向からのアクセスへの配慮や限られた敷地を有効利用できるよう検討し、建物、広場等を配置しました。	
4	3 配置計画 3-1 配置の基本方針	建物 建物が、四角く単純なつくりになったことは、この先の改装や利用変更等の可能性を考慮した場合に望ましいと思います。ただ、当初計画よりも、だんだんとこじんまりしてきた印象があるのが残念です。以前のように、増築増築を繰り返すぐらいなら、建て替えの今回一気に、十分な広さのものを建築してほしかったです。	今後の人口減に伴う職員数の減少やICTの普及により、執務室面積が現在よりも減少していくことが想定されるため、現在の本庁舎旧館・新館・別館と同等規模としております。	
5	3 配置計画 3-1 配置の基本方針	魔除け等の設置 平面図を概観しますと市庁舎の中央を基準にすると正面玄関ならびに歩行者誘導路は「北東」の方向になります。すなわち表鬼門にあたります。そこで正面玄関入り口には魔除けを設置すると共に毎年のお祓いを検討してください。	魔除けの設置等は考えておりません。	
6	3 配置計画 3-2 アプローチ計画	ウォークアブルシティ構想 歩行者の入場路と車の進入路の交差について十分な配慮がなされていると思います。しかし、車社会から人間中心のまちを取り戻すという国の方針「居心地がよく歩きたくなるまちなか」を実現するためのお手本として、なお一層のアイデアを集めて欲しいと思います。 具体的には歩行者が車の通行を意識することなく、安心して市庁舎に入場でき、快適で楽しいと感じられる仕組みを再検討してください。あるいは意見募集をしてください。この構想は周辺のまちづくりのグランドデザインにもつながると思います。	いただいたご意見につきましては、外構設計時に参考とさせていただきます。	
7	3 配置計画 3-2 アプローチ計画	新川大橋通りから、新庁舎に自転車アクセスしづらいアプローチになっている。出入りが激しい正面玄関脇を通過して駐輪場に行くことになり歩行者との衝突も懸念される。(車椅子スペース脇も通るのでなお危ない)また駐輪台数は広さに対して28台は少ないのではないかと。将来的に自転車や電動キックボードなど移動手段も多様になることが考えられるため、自転車その他交通手段のアプローチにも対応してほしい。新川大橋通り側の広場の一部見直しや、歩行者通路の角度調整してスペース確保または専用通路を用意して別の場所に用意などどうか。	自転車につきましては、軽車両に該当することから車道の通行を想定しております。 駐輪場につきましては、混雑状況に応じて臨時駐輪場の設置を考えております。	
8	4 平面計画 4-1 平面計画の基本方針	執務室は各個人に机を配備していますが、ICTを活用するのであるなら、フリーアドレス化し個人での資料を無くし共有化が図れ、机の配備も少なく出来ます。フリーアドレス化しないのは何故でしょうか。	図面上、配置職員数が確認できるよう、各個人に机を配備する従来の形式で記載しておりますが、将来的にフリーアドレス化に対応できるよう、フリーアドレス対応デスクの導入を検討しております。	

No.	区分	ご意見	回答案	修正等
9	4 平面計画 4-1 平面計画の基本方針	リモートコンシェルジュ 現在各地の自治体ではウィズコロナ、アフターコロナの対策としてリモート体制を充実させております。特に土浦市ではリモートコンシェルジュを配置しています。現在は支所だけでなく図書館などの一般公共施設まで拡張しており、行政手続きの簡素化が図られております。現在の八千代市の計画案ではそのような機能は検討されていないように感じられます。従って竣工時までには間に合いそうにありませんが、スムーズに移行できるような設計を計画してください。	リモートコンシェルジュを含めた窓口のリモート化につきましては、現在検討を行っておりますが、将来的には窓口のオンライン化等への行政手続きの変化に対応できるよう、執務室をオープンスペースとし、大幅なレイアウトの変更が容易となる設計としております。	
10	4 平面計画 4-2 1階平面計画の基本方針	P4の1階の執務フロアに記載されている食堂は厨房設備・食器・収納・配膳等を含めた面積となっておりますが、左記の設備等は営業を希望する業者が用意するのですか。 更に、新型コロナウイルスの影響で働き方改革の一環としての従来の職場を勤務場所にする職員や一般客は減少傾向と推測し、かつ、利用者の減少や最近の生鮮食料品の高騰等で食堂を営業する業者の見通し等についても立っておりますか、現状についても記載をして頂きたい。	厨房設備の設置につきましては、建設工事中に行う予定としておりますが、食堂の運営事業者の見通しにつきましては、現在資産管理課においてサウンディング型市場調査を行っており、調査結果等により変更する場合があります。	
11	4 平面計画 4-2 1階平面計画の基本方針	P4の1階の執務フロアに記載されている地域包括支援センターは2月1日に移転した情報がHPに記載をされているが、敢えて記載した理由は内部情報については市民よりも職員の方が情報を待っており、新庁舎完成後は元の職場に戻ってくることを前提に記載をしておりますか。	計画時点では本庁舎に配置されていたため、現庁舎に配置されている部署が新庁舎に配置可能かという検討をするために仮で配置しております。課の配置につきましては、今後の機構改革により変更していきます。	
12	4 平面計画 4-2 1階平面計画の基本方針	食堂 今までと比べ食堂があまりに狭くなった印象です。現在利用者がこの程度で賅えるということでしょうか？それとも、飲食物の外販(購買等)で確保する予定ということでしょうか？	食堂につきましては、図面上の食堂部分の他、屋外テラスでも飲食が可能な机・椅子の配置を検討しております。また、隣接する会議室兼イベントスペースが会議等で使用していない場合には、食堂と一体的に利用できるようにしております。	
13	4 平面計画 4-2 1階平面計画の基本方針 4-3 2階平面計画の基本方針 4-4 3階平面計画の基本方針 4-5 4階平面計画の基本方針	P4～P7の執務フロアの平面図について ①細かいことになり恐縮ですが、執務室に配置されている机又はテーブルと椅子が記載されておりますが、記載するからには、現行の数と同一か・多いか・少ないかを働き方改革の一環から記載をして頂きたい。 ②既設の机・テーブル・椅子は流用可能な数については流用しますか。 ③現行では、インターネット環境にあるPCは200数十台と聞いておりますが、新庁舎完成後も業務遂行にあたり、デジタル技術時代にふさわしい考え方になるようにPCを複数人で共有するのではなく一人1台の考え方になりますか。インターネット環境下で使用可となるPCの数を教えて下さい。 ④電子機器(プリンタ、複写機、FAX等)の配置台数は現行数と同じ数を考えておりますか。 ⑤5階の平面図は、機械設備のみ配置するため、省略したと記載されておりますが、P17に記載されている電気設備の配置はどこになりますか。	①執務室の什器レイアウトについては、現在の庁舎に配置されている職員数を元に記載しております。なお、将来的な職員数については、人口の増加等に合わせ、変動することが見込まれますが、今後職員数が増えた場合には、什器レイアウトを変更することで対応したいと考えております。 ②現在使用している備品は劣化状況等調査を行い、引き続き使用可能なものは使用してまいります。 ③現在、住民情報、税及び福祉等のマイナンバーを取扱うシステムを利用している部署につきましては、インターネット接続環境下でないパソコンも使用しておりますが、多様な働き方に対応すべく、将来的な1人1台の配置を見据え、令和4年度に、インターネット接続系を仮想環境にて構築し、LGWAN接続系のパソコンから画面転送にてインターネット接続できるようにいたしました。 ④複合化が可能な機器があるため、台数につきましては、現行よりも減少する見込みです。 ⑤5階には機械室を配置しますが、機械室には機械設備の一部の他、電気設備の一部も配置されます。 その他の機械・電気設備は市役所敷地・新庁舎各所に配置されます。	
14	4 平面計画 4-3 2階平面計画の基本方針	まず、職業相談室ですが医務室と場所を交換してはどうでしょうか？ 2Fには子育てママらが来ますので母親や子供の具合が悪くなった時の事を考え、受付から見える位置というか、近い位置にしては?と思いました。 また、失業者も受付や2Fテラスから見える位置での就職検索は行きにくいかと思えます。 失業しているだけで精神的にはかなりへこんでいる状態なので、目立つ場所へ職探しには行きたくないのが本音です。 1Fにあった頃よりかは2Fにしていたいただいたのはまだ助かりますが。。。場所が変えられないならせめて入り口をエレベーター側にするとか北側に何が何でもしたいならせめて他から出入りが目立たないようにパーティションやら仕切りで出入口を見えにくくしてもらいたいです。	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。	
15	4 平面計画 4-3 2階平面計画の基本方針	次に子育て支援課などの子育て関連部署が2Fなのは少し驚きました。 てつきりワンストップサービスで1Fに持ってくるのかと思いましたが。。。まあ広さ的にできなかったのは仕方がないでしょう。。	1階には、利用者の多い戸籍住民課を配置するとともに、障がいをお持ちの方、高齢者の方々が多く利用される健康福祉部を中心に配置させていただきました。そのため、子ども部は2階の配置となっております。	
16	4 平面計画 4-2 1階平面計画の基本方針	2階テラスを有効活用するために、カフェを設置し従業員を障害者雇用で促したらいいのではないのでしょうか。	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。	
17	4 平面計画 4-3 2階平面計画の基本方針	屋外テラスを閉庁日でも市民が活用可能なように屋外階段を付けるなど検討頂くようにお願いします。	2階テラスの使用方法については、職員及び議員の皆様からも同様の意見が多数寄せられたこともあったことから、市民の皆様が気軽に使用できるように屋外階段を設置させていただきます。	○

No.	区分	ご意見	回答案	修正等
18	4 平面計画 4-5 4階平面計画の基本方針	改訂前の計画も同様でしたが、議場および4階部分についてです。議場については、「音の明瞭度を確保するため、最大6mの天井高」としています。「音の明瞭度」の意味がよくわかりません。発言を聴きやすくすることなのではないでしょうか。実際の議事はマイクをつかってやりとりは行なわれていますので、議場らしさの雰囲気をつくるための仕様と思います。そのためにわざわざ5階への吹き抜け的な仕様は必要ないと思います。議長席の高さ、議員席のスロープ、傍聴席の高さを計画のとおりとしても、他の階のように4.4m高の無天井で充分なのではないでしょうか。 また、4階が「議員控室のシステム天井」として、他の階の無天井の4.4mより0.2m低くなっている理由もよくわかりません。他の階の無天井の4.4m高で十分なのではないでしょうか。 これらの見直しをすることで建設費がすこしでも減額できれば幸いです。市議会は大切な機能ですが、だからといって議場と議員控室が他の庁舎とことなる特別仕様にする必要はないのではないのでしょうか。	音の明瞭度の確保とは音がはっきりと聞こえる状態にすることです。議場の天井高さを高く確保して室内の体積を大きくすることで、音の反響を制御し、適切な聞こえやすさを確保できます。 天井を低く設定した場合、音の反響が大きくなり、発言等が聞こえにくくなる恐れがあります。 4階の階高が4.2mとして1.2階より0.2m低くなっている理由は、1.2階は一般の来庁者が多く待合ロビーを備えており、圧迫感を感じさせないために天井高さを2.9m確保しております。 一方、3.4階は一般の来庁者の利用は限定的なため、階高を4.2m、天井高さを2.7mとしております。 4階の議員控室では、天井高さを2.7mとし、空調設備の取り付けや部屋の間での遮音設備の影響で、システム天井としています。	
19	9 防災・環境計画 9-2 防災計画の具体的な整備方針	屋上へ発電機を設置していますが、免振構造ではある程度の揺れは考えられます。勿論固定金具等は設置しているとは思いますが、今後老朽化によるサビ、緩み、亀裂等で大きい地震の衝撃で1台でも外れると玉突きのように次々とぶつかり、破損し、最悪動かないという想定は必要かと思えます。4台あるなら1~2台は1Fへ設置しておくなどのリスクヘッジは必要かと思えます。	P13の図中では屋上に機械が4台記載されておりますが、非常用発電機は1台の設置予定ですので、機械を1台に修正させていただきます。 なお、非常用発電機は地震の衝撃を受けた際にも稼働に問題がない様に設計しており、浸水被害を免れるためにも、屋上に設置しております。	○
20	9 防災・環境計画 9-3 環境計画の基本方針	大規模な太陽光発電を導入しNearly ZEBへの見直し 500kwソーラーでNearly ZEBの検討を頂いたとのことですが、500kwで4億円とのこと1kw当り80万円。平均調達価格の3.3倍以上になっています。見積を見直して下さい。 またZEB化支援事業はNearlyZEBの場合上限5億円で3 / 5補助です。これら見直すと12.73億円の事業費を4.33億円まで最大約8.4億円の削減が可能です。またランニングコストの削減額が1240万円で回収に103年かかるとのことですが、開庁日での省エネによる経費削減分のみで見積りとなり、閉庁日の売電収益が考慮されておらず、その他係数も保守的過ぎます。これら見直すと1570万円で回収年数は27年となり、ZEB Readyよりも良い結果となります。 ここまで設計頂いたZEBReady庁舎をベースに、500kwソーラーを導入してNearlyZEBとする事を提案します。ご検討ください。それによって環境施策的にも先進的な庁舎となり、事業費も約8.4億円の削減、停電災害時の業務継続性も飛躍的に向上、500kwのソーラー庁舎は聞いたことがありませんので全国に誇れる庁舎として、シテイプロモーションにも繋がります。	太陽光パネルの単価につきましては、国交省の新営予算単価基準に基づく算出では100万/kWであり、それを踏まえても想定単価80万/kWは、概算費用を算出する根拠としては、概ね妥当と考えております。今回の新庁舎建設では、ZEB Readyの取得を目指し進めていきますが、庁舎完成後にNearly ZEBを目指すこととなった場合には、改めて検討していきたいと思えます。 なお、ZEB化支援事業の活用については、来年度決定するデザインビルド事業者と共に実施設計時に検討してまいりたいと考えております。	
21	9 防災・環境計画 9-4 環境計画の具体的な整備方針	大規模蓄電池の導入 停電への備えとして非常用発電機の導入を考えているということですが、非常用発電機は有事のみの備えであり、A重油の備蓄、7日間の連続運転には燃料の追加が必要で、防災機能としても環境施策としてもどうかと考えます。 ZEB&ソーラー庁舎+大規模蓄電池で非常電源を確保する設計を提案します。防災機能として3日以上業務継続性の確保も可能となると同時に、ゼロカーボンに繋がる先進的な環境施策ともなり、電力高騰の現状において電力使用量の縮減、電力コストの大幅削減にも繋がります。平時・有事の境目なく電力確保に繋がる取組みとなります。佐賀県小城市庁舎では500kwソーラーと3456kwhという大規模蓄電池を組合せたエネルギー管理システムを実現していますし、横浜市等先進自治体では同様のシステムの導入を進めています。 大規模ソーラーの導入場所としては駐車場を活用したソーラーカーポートは有効だと考えます。	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。	

No.	区分	ご意見	回答案	修正等
22	9 防災・環境計画 9-4 環境計画の具体的な整備方針	<p>最後に太陽光の蓄電池ですが、2～3千万円かかり、非常時だけの設定ときかされましたが、通常から使用すればよいかと思えます。確かに業務用エアコンでは4台程度かも知れませんが、わざわざキロワット数の大きいものを対象にしなければいい話かと思えます。</p> <p>ある程度の範疇の照明、PCだけが通常から蓄電池を使用した状態にしてみてもどうでしょうか？</p> <p>災害時をよく想定してみてください。</p> <p>2パターン考えられます。1つ目には災害対策本部の会議室の照明とPC電源。 2つ目には市民が不安になり訪れる1F総合案内横の窓口カウンター</p> <p>その全部は難しいので半分か3分の1くらいの照明、PC電源を普段から蓄電池からの電源使用としてみても？</p> <p>災害時に訪れた市役所窓口の電気がついているのといないのとでは印象が大分違います。また窓口でpc稼働し、色々災害時の手続きができるのはかなり大きいかと思えます。</p> <p>最も普段から訪れる窓口の一部の電源がエコなエネルギーならかなりの宣伝効果になります。この照明とPCはエコエネルギーで動いています！！と窓口で掲げてみるはどうでしょうか？</p> <p>八千代市もエコな街を目指しているんだな～といういい宣伝になりますよ？</p> <p>八千代市のイメージアップの宣伝広告費として格安かと思えますが？</p> <p>わざわざそれを放棄するのは誠に残念です。</p> <p>また今週の読売千葉版にて八千代市のラスパイル指数が全国1位になったとの話ですが、この指数をもう少し下げれば蓄電池代の2～3千万円捻出はできたのではないのでしょうか？今のままだと職員のイメージは悪すぎます。反省、改善でラスパイル指数を下げた分の一部を蓄電池購入、エコエネルギーとして使用しています。という事をすれば、職員のイメージアップにもつながるかと思えますが？</p> <p>今のタイミングを逃す手はないかと思えますが？</p> <p>今後まだ電気料金が上がるなら従来電気料金との差額で2～3千万円なら元はすぐ取るかと思えますが？まあ従来の料金でも元は取れますが。。。</p> <p>また軽油による発電機はあまり過信しない方がいいでしょう。軽油が道路封鎖なく届いた場合1週間程度持つ話では？逆に、電柱倒壊などによる道路封鎖が地震で起きたなら3日程度しか持たないのでは？</p> <p>実際2019年の千葉県を襲った台風では2週間以上停電した地域がありましたね。</p> <p>道路が必ずしも通れるとは限りませんし、東日本大震災時の時のように物資が不足し、手に入らない事態も想定すべきでしょう。軽油もしかりです。</p> <p>常に最悪の事態を考えるなら軽油による発電機は絶対的なものではないという事を念頭にいれるべきでしょう。そういう意味でも太陽光発電を蓄電池で使うシステムは必要になってくるかと思えます。</p> <p>2～3千万円なら安いものかと思えます。</p> <p>今回かな市役所はエコ仕様になっておりよく勉強されたなと感心致しました。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>	
23	10 議場計画 10-4 議場計画	<p>P14～P15の議場計画について</p> <p>①傍聴席に親子席を設けた理由等があれば、記載(市民からの要望等があったとか、親子を含めて全世代で議員さんの活動状況を把握するとか)をして頂きたい。コストをかけて親子室を設けてもわざわざ傍聴する親子はおりませんが、傍聴したければライブ中継でことが足りると考える。</p> <p>②現行の議場と今回の議場について、現状と変わらないと思えますが、わざわざ鳥瞰図もどきを入れた理由等があれば記載をして頂きたい。</p> <p>③計画についての市民目線の観点から現状と今回の変更点等があれば記載(例えば、傍聴席でもPCを持参すれば、インターネット環境が整っているとか、一般市民の利便性等から議員と同じように椅子と机をセットにした配置も数は少ないが用意しているとか)をして下さい。</p>	<p>①誰もが市議会を傍聴しやすい環境づくりのため、親子席や車いすスペースを設ける計画としました。</p> <p>②現在の議場は議場階よりも傍聴席の階が1階高い構造となっておりますが、基本設計では同一階に設けており、傍聴席から議場を眺めた際のイメージのために内観イメージを掲載しました。</p> <p>③大型ディスプレイを配置することで採決結果等の表示が可能になります。また、エレベーターから傍聴席までの間にスロープを設置することにより、今まで傍聴席に行くまでにあった段差がなくす計画としております。</p>	
24	11 構造計画 11-2 建物概要 11-4 免震装置の配置計画	<p>P16の構造計画について、図書館等に大切に配架されている現時点で最新と推定する 八千代市新庁舎等建設基本設計 基本設計書に比較して今回の概要版では大分簡略化しており、その理由等も合わせて記載して下さい。</p> <p>①建設概要欄の構造形式のプレース付きラーメン架構(本基本設計(素案))と純ラーメン架構(前回の基本設計書)の差異は？</p> <p>②免震装置の配置計画、ダンパーの記載無し(本基本設計(素案))とダンパーの記載有り(前回の基本設計書)の差異は？</p> <p>③免震ピット伏図の記載有り(本基本設計(素案))と免震ピット伏図の記載無し(前回の基本設計書)の差異は？</p> <p>④前回の設計設計書に記載されている、適用基準等、各種性能目標、設計荷重、構造計画などが本基本設計(素案)では記載がされておりませんが、その理由等についても記載をして頂きたい。</p>	<p>①今回記載の「プレース付ラーメン架構」では、ラーメンを主体架構としてプレースをプラン上配置可能な位置に最小限配置することにより、耐震性能の向上を図っています。</p> <p>具体的には、プレースを入れることにより柱鉄骨のサイズを小さくし、鋼材納期の短い材料の部材(BCR材)とし工期の縮減を図っています。</p> <p>②前回の基本設計は免震構造に、オイルダンパーの設置を予定していましたが、今回の基本設計では、ZEB Readyの取得を目指し、免震ピット内スペースを設備システム(クールトレンチ)として利用するため、ピット内にダンパーを設置しない免震構造の配置計画といたしました。なお、免震性能については、前回基本設計から劣るものではございません。</p> <p>③②に示した理由により、今回のピット計画では、免震装置配置計画をメンテナンススペース含めて伏図にて表記することが重要と考え、基本設計書に免震ピット伏図を記載しております。</p> <p>④今回の基本設計書(概要版)は、今回の構造計画の要点を絞った記載としているため、今回の基本設計書(概要版)に記載のない項目については、今回の基本設計書の本編及び資料編に記載いたします。</p> <p>なお、「各種性能目標」については、P16 11-3に記載しております。</p>	

No.	区分	ご意見	回答案	修正等
25	14 事業費	<p>P18の事業費について</p> <p>①備考欄に金額根拠を入れて頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎工事の新庁舎の金額は、例えば、国土交通省告示第〇〇号に記載の1m<sup>2</sup>あたり●●万円×12,916m<sup>2</sup>より算出した。</li> <li>・公用車庫の金額は、例えば、国土交通省告示第△ △号に記載の1m<sup>2</sup>あたり▲▲万円×必要面積(具体的な数値)m<sup>2</sup>より算出した。</li> <li>・外構の金額は、例えば、国土交通省告示第□□号に記載の1m<sup>2</sup>あたり■■万円×必要面積(具体的な数値)m<sup>2</sup>より算出した。</li> <li>・解体工事の金額は、例えば、国土交通省告示第▽ ▽号に記載の1m<sup>2</sup>あたり▼▼万円×現行面積(具体的な数値)m<sup>2</sup>より算出した。</li> </ul> <p>②事業費概算表に含んでいない、・備品購入費・引越し費・本庁舎「別館」改修工事費・「多目的棟」改修工事費についても概算額を入れて頂きたい。不可の場合にはいつ概算額を提示するのか時期についても記載を頂きたい。</p> <p>③ P3・P4以降に記載されている配置計画、平面計画、立面計画、断面計画、ユニバーサルデザイン計画、市民利用計画、防災・環境計画に記載されている内容を含んだ場合の概算額も入れて頂きたい。</p> <p>④事業費概算表に記載の105.71億円+ ① + ② + ③を加算した場合の総事業費の概算額を10億円単位で入れて頂きたい。(例えば、総事業費の概算150億円とか200 億円とか)その理由は、八千代市庁舎整備基本計画令和4年4月改訂(案)によれば、平成23年度から検討を開始してから現在まで10年以上が経過しており、今後何時まで続くかは分かりませんが、今まで費やした人材、時間、経費(毎回違う設計会社へのコンサル料など)等が将来に渡って継続しますが、投資総額する事業費の概算を市民に提示する必要があると考えます。</p>	<p>①他市の庁舎新築事例(令和元年12月)の設計単価を準用し、各工事の項目ごとの金額を算出し、財団法人建設物価調査会が発行する「建設物価指数月報」により算出した令和元年12月から現在までの物価上昇率1.2を勘案して算出しております。また、解体工事の金額につきましては、前回の基本設計時の金額に物価上昇率1.2を勘案して算出しております。</p> <p>②ご指摘の項目については、現時点では詳細な内容が決まっていないため、概算額を出すことは出来ません。今後の実施設計時又は工事期間中の検討により概算額を算出してまいります。</p> <p>③工事費につきましては、上記①のとおりです。それ以外の費用については、上記②のとおり現時点では算出出来ておりません。</p> <p>④上記①～③のとおり、現時点では算出出来ません。</p>	
26	14 事業費	基本計画時と比較し、事業費が約85億円から105億円に増額されています。なぜなのでしょう。この金額は精査されたもののでしょうか。	昨今の著しい物価高騰を踏まえ、財団法人建設物価調査会が発行する「建設物価指数月報」により算出した令和元年12月から現在までの物価上昇率1.2を勘案して算出したため増額しております。	
27	14 事業費	環境省ZEB化支援事業の活用 ZEB庁舎にするのにZEB化支援事業を活用しないというのは正直考えられません。ZEB化支援事業は上限5億円で、ZEBReadyでも1 / 2補助です。8. 3億円の増額事業費もこの事業活用で、最大約4. 2億円削減できます。出来る限り財政負担を下げるためにもこのZEB化支援事業を最大限活用するように検討ください。	環境省ZEB化支援事業の活用については、来年度決定するデザインビルド事業者と共に実施設計時に検討してまいりたいと考えております。	
28	14 事業費	太陽光発電コストの見直し 基本設計では太陽光発電設備が45kwで2600万円ということなのですが、1 kw当り58万円というのは高すぎます。経産省・資源エネルギー庁の調達価格等算定委員会の2022年設置の10kw以上の事業用太陽光発電のシステム設置費用の平均値は1 kw当り23. 6万円です。市場価格の2. 5倍以上となっていて概算にしても高すぎです。見積の見直しを検討願います。	太陽光パネルの単価につきましては、国交省の新営予算単価基準に基づく算出では100万円/kWであり、それを踏まえても想定単価58万円/kW(屋上設置)は、概算費用を算出する根拠としては、概ね妥当と考えております。	
29	14 事業費	太陽光発電の初期経費等が厳しいのであれば、PPA(エネルギーサービス契約)を活用して民間事業と連携して進めて下さい	更なる太陽光発電の設置及びPPAの活用につきましては、今後検討してまいります。	
30	14 事業費	別館を庁舎として活用して事業費をできる限り縮減ください。	本庁舎別館につきましては、耐震性能を満たしていることから、今後の利活用を資産管理課所掌の会議体において、現在検討を行っております。	
31	その他	小学2年生から20年間八千代で育ったものです。現在私は八千代に住んでおらず実家も引っ越しをしてしまった為関係があるとは言えないかもしれませんが地元として八千代のことを応援しております。市庁舎の新設のことで知り応援したくてメッセージ送らせて頂きました。私が住んでいた頃から市庁舎はとても古い印象で新しくなれば良いのにと感じていました。市庁舎は町のシンボリックな意味もあると思いますし働かれています方や来られる人にとっても新しい方が良いことが多いと思います。ただのメッセージとなってしまう申し訳ございません。	応援いただき、ありがとうございます。 八千代市のシンボルとなり、市民の皆様が満足できる市役所となるよう、努力してまいります。	
32	その他	土地 多目的等と、倉庫の間の民有地は、買い上げてあげた方がお互いのために良いのではないのでしょうか？ 市役所に食い込んだ形の土地であり、利用者の視線など、様々なことで、この先トラブルに発展することも考えられます、相手が売らないと言っているのであれば、強硬する必要はないと思いますが、建て替えを機に買い上げてあげた方が、お互いに利用効率のいい土地の利用ができるのではないのでしょうか？	民有地に関するご意見につきましては、回答を差し控えさせていただきます。	
33	その他	北側建物都市、南側全域をひろい広い駐車場として使用したので、(商業施設のように)全面に屋根のように、広大な太陽光パネルでも設置するかと思いましたが、残念です、今後の駐車場上部空間の活用に期待します。	いただいたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。	
34	その他	概要版(素案)でのパブリックコメント(略称: PB)ですが、概要版(素案)はそもそも本文(本体)を理解し易くするための図書と理解しますが、本文の扱いはどうなりますか、例えば、本文も時期をずらしてPBにかけますか。当然ですが、理解し易くするため本文と概要版がセットでPBにかけるとするのが本来の姿だと思います。	基本設計書本編につきましては、実施設計を行う上での専門書としての位置付けとなり、概要版は特に重要な箇所を抽出したものです。そのため、基本設計書本編のパブリックコメントを実施する予定はありません。	
35	その他	2019年を最後に市民説明会が開催されていません。総額105億円以上の八千代市政最大規模の事業であるにも関わらず、市民とのキャッチボールが不十分であると感じます。市民の大切な税金を使用している以上、願いますから市民説明会を開催してください。行政だけでなく事業者が出席して説明会を実施する自治体もあります。八千代市も同様に市民説明会を開催してほしいです。	コロナ禍であったため、市民の皆様が集まる市民説明会を開催いたしませんでした。 そのため、広報やちよ、市ホームページ、Facebook、Youtubeでの動画等の様々な媒体を通じて市民の皆様へ情報発信してまいりました。	